

編集 後記

●編集委員 (50 音順)

石丸哲也 今村清隆 上原 圭 太田啓明 柴崎 晋 竹内裕也 辻仲眞康
仲田興平 成田伸太郎 能城浩和 長谷川傑 伴 大輔 藤森 賢

2年ぶりに編集後記を執筆させていただく機会をいただきました。本号は原著1編、症例報告6編、手術手技2編、私の工夫1編と多岐にわたる内容となりました。正中弓状靱帯圧迫症候群50例の手術成績に関する原著論文をはじめとして、すべての報告が簡潔な主張とともに提示され、読者に有益な情報が数多く提示されていると感じました。特にここ数年われわれの生活を大きく変化した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)下での緊急腹腔鏡手術を限られた人員の中どのように行うかに関する報告は、後世にもつながる振り返りにつながったのではないかと感じます。

また、2年前に私が担当した編集後記で本誌ではロボット支援手術の投稿がまだ少ない、というコメントをさせていただきましたが、私が憂慮する必要もなく、最近ではロボット支援手術関連の報告の投稿や本誌掲載がとても増えたと感じています。昨年末、第36回日本内視鏡外科学会総会(2023年12月7~9日、横浜)の事務局をさせていただく機会も得ましたが、腹腔鏡手術関連の演題はもちろんのこと、ロボット支援手術の適応拡大が多くの領域で進み、学会を席卷していると感じました。da Vinci(インテュイティブサージカル社)のみならず、hinotori サージカルロボットシステム(メディカロイド社)、Hugo RAS システム(コヴィディエンジャパン社)、Saroa サージカルシステム(リバーフィールド社)などといった新たな手術支援ロボットシステムを用いた手術が保険収載となり、いよいよロボット支援手術も機器選択から始める時代となりました。私自身も現在 da Vinci と hinotori を実際に使用させていただく機会を得ていますが、異なったプラットフォームならではの注意点やコツが存在することも事実です。ぜひ皆さまには、各種手術支援ロボットを安全・円滑に普及させるための取り組みや手術手技の工夫も本誌に紹介していただきたいと思います。

(成田伸太郎)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第29巻 第3号) 2024年5月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1部) 価格: 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

2024年 年間購読料: 18,018 円 (税込) *学会員は学会ホームページから閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (理事長: 北川雄光)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses@convention.co.jp (担当: 平澤)

<http://www.jses.or.jp>

発 売: (株)医学書院 (代表: 金原 俊) (本誌担当: 小山, 小路)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売・PR 部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

電子出版コード 260F2600029003000000

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・JCOPY (株)出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。